



# チックシベツ

教育目標  
たくましい身体の子  
ねばり強く働く子ども  
進んで学ぶ子ども  
美しく豊かな思いやりのある子ども

秩父別小学校だより 11月号 (平成28年11月11日) 【発行責任者 成田将人】

11月が始まったばかりというのに、外は一面雪景色。ストーブの始動も例年より早いのではないのでしょうか。前号では、秋の話題を掲載したばかりなのに、子供たちとの会話も「冬」が中心になりました。

## 列車がなくなってしまう・・・

留萌線の廃止まであと一月です。

深川～留萌線は、今回、廃止対象になりませんでした。個人的には、できればなくしてほしくない路線です。

深川から列車で秩父別に向かうと、春・夏・秋の装いが車窓から眺めることができ、なんとも温かい気持ちになります。

確かに、連日満員とは言えない状況ですが、朝夕の登下校等に欠かせません。

しかし、輸送・移動手段が車中心になり、列車の需要は、生活の中心から外れてしまっているのでしょう。

ただ、列車に揺られ、景色を眺める機会がなくなってしまうのは、なんともさびしい限りです。

「時代が変わってきた。」と言ってしまえば、それまでですが、古きよきものを子供たちに伝えたいと思っています。

今の時代、ものすごい速さで技術革新が進んでいます。

もう半世紀以上生きている私は、「今までのままでいいよ。」となってしまうがちですが、これからの未来を生き抜いていく子供たちはそれでは困ります。

古きよきものを継承しつつ、新しいことに順応することが大切だと思います。

そのためにも、自分自身が日々「常に、新しい波に敏感でありたい。」と思いを過ごしています。

現在の JR 北海道路線図から輸送密度 2000 人/日未満の区間を消すと...

札幌周辺の通勤通学需要が多い区間と旭川、釧路、函館、青森方面といった主要都市を結ぶ区間しか残らないとのこと。

現在の路線の 6 割が消滅の危機と言えます。

